

# 「信仰は誰のためか」

## ～ 聖書を読み解くキーワード：神の栄光（前編）～

- イントロ：1. 福沢諭吉の「学問のすゝめ」  
2. 和田秀樹の「新・学問のすすめ」  
3. キリスト教界の問題点  
    (1) 論理よりも感覚（感動的かどうか）  
    (2) 客観的よりも主観的（私がどう感じるか）  
    (3) 神中心よりも人中心（信じればどういふご利益があるか）  
4. アモス8：11 「主のことばを聞くことのききん」  
    (1) 時代背景は似ている。  
    (2) アッシリヤ捕囚という裁き。  
    (3) 主のことばを告げてくれる預言者がいないので、心は渇く。  
5. 質問  
    (1) 私たちの聖書理解は、日々成長しているだろうか。  
        ユダヤ教徒とイスラム教徒の弱点は、聖典を学ばないことにある。  
    (2) 神中心に聖書を読むとは、どういうことか。  
    (3) 「人類の救い」でなく「神の栄光」というキーワードで聖書を読み解く。

「神の栄光」は聖書を読み解くキーワードである。

### I. エデンの園（創世記1～3章）

1. 神の臨在（栄光）がアダムとともにあった。
2. 神に反逆した結果、アダムは神の臨在から退けられた。最大の悲劇。
  - (1) 罪とは自分で善悪の基準を決めようとしたこと。神になる行為。
  - (2) 罪とは神から与えられた「自由」の枠組みを乗り越えたこと。
3. 被造の世界が呪いを受けた。虚無に服した（ローマ8：20）。
4. 地上には神が臨在される場所がなくなった。
5. サタンが地上を支配し、「神の栄光」を奪おうとしている。

### II. 旧約聖書

1. シャカイナグローリー
  - (1) 「シャカイナ」は「シャカン（隣人の間に住む）」という動詞の名詞形。
  - (2) 「グローリー」は英語。
  - (3) 神の臨在に伴なう栄光のこと。

- (4) 「シャカイナ」という用語は、聖書にはない。しかし、概念はある。
- (5) 神の臨在が、人間に知覚できる現象となって現われたもの。  
光、火、煙、雲、風、雷、いなずま、角笛の音など。

## 2. アブラハム

- (1) 創世記 15 : 17 アブラハム契約はシャカイナグローリーの中で結ばれた。
- (2) この時、アブラハムは寝ていた。

## 3. モーセ

- (1) 出エジプト 13 : 21、22 火の柱と雲の柱
- (2) 出エジプト 19 : 16~20 シナイ契約
- (3) 幕屋 (ミシュカン) とオヘル (天幕) の違い
  - ①神が人類と出会う地上で唯一の場所。
  - ②神が人類と出会う唯一の方法。祭儀法。
  - ③神が人類と出会うために選んだ一人の人。大祭司。

## 4. ソロモン

- (1) II 歴代 5 : 13、14 神殿奉献で、主の宮は雲で満ちた。
- (2) II 歴代 7 : 1 天からの火が全焼のいけにえを焼き尽くした。

## 5. エゼキエル

- (1) エゼキエル 10~11 章 主の栄光が去る。
- (2) エゼキエル 11 : 22、23 主の栄光がオリーブ山の上にとどまった。
- (3) それ以降、神殿にはシャカイナグローリーが失われた。
- (4) イスラエルの偶像礼拝の罪とそれに対する裁き (バビロン捕囚)

## 6. 捕囚から帰還して以降

- (1) 第二神殿の建設。シャカイナグローリーがない。
- (2) ヘロデ大王による拡張。シャカイナグローリーがない。
- (3) ハガイ 2 : 9 「先のもの (第一神殿) にまさる栄光」
  - ①この預言は、メシアであるイエスの受肉によって成就する。

## Ⅲ. 新約聖書

### 1. ヨハネの証言 : ヨハネ 1 : 14

- (1) 「ことば」は人となった。
- (2) 私たちの間に「幕屋」を張られた。体=幕屋

- (3) その「幕屋」の中に神の栄光が見えた。
- (4) イエスはシャカイナグローリーそのものである。

## 2. イエスの誕生

- (1) ルカ 2 : 8~21 主の栄光が羊飼いたちを照らした。
- (2) マタイ 2 : 1~12 星に導かれて来た当方の博士たち。

## 3. イエスの洗礼 マタイ 3 : 13~17

- (1) 16 節 鳩のように下る聖霊
- (2) 17 節 天からの声 (父なる神)

## 4. イエスの変貌 マタイ 17 : 1~13

- (1) 顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。
- (2) 変貌ではなく、内にある栄光が輝き出た。
- (3) 光り輝く雲 (5 節)
- (4) 雲の中から聞こえた声。
- (5) 再びその栄光を隠すイエス。

## 5. イエスの死 マタイ 27 : 45~54

- (1) 昼の 12 時から 3 時まで暗黒が続く。
- (2) 「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」という祈り。
- (3) イエスの死の本質は、父なる神との断絶。シャカイナグローリーとの断絶。

## 6. イエスの昇天 使徒 1 : 9~11

- (1) 雲に包まれて。
- (2) あなたがたが見たときと同じ有様で。
- (3) マタイ 24 : 30 人の子が天の雲に乗って来る。

## 結論 ローマ 8 : 16~25

1. 私たちは神の子どもである。
2. 私たちは、望み (目に見えないもの) によって救われている。
  - (1) 相続人としての地位。キリストとの共同相続人。
  - (2) 今の患難と将来啓示される栄光の比較。
  - (3) 復活の体をもって、再創造された世界に住むようになる。